

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

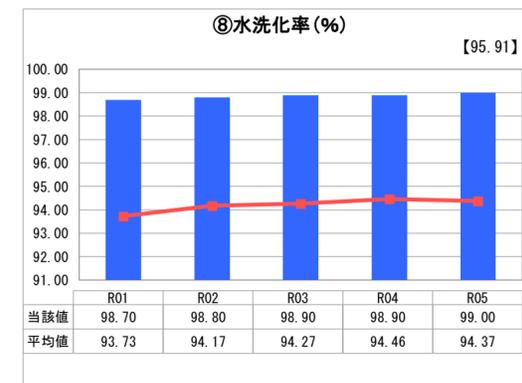
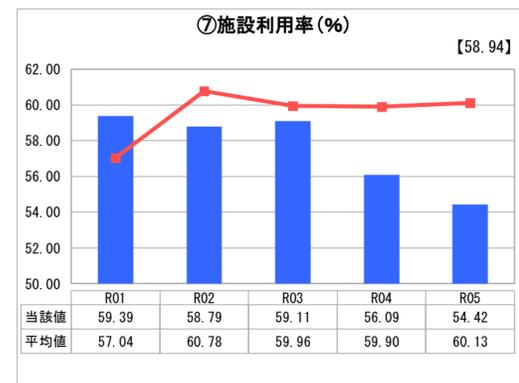
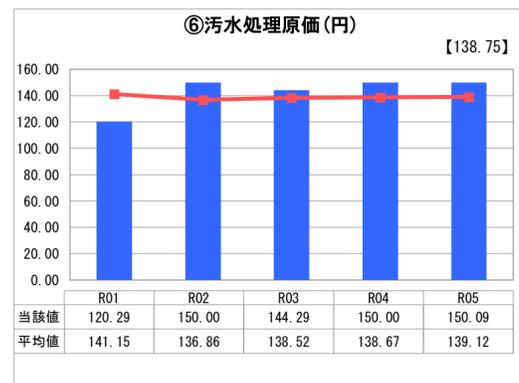
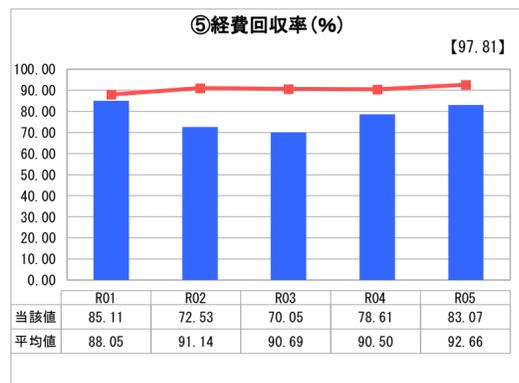
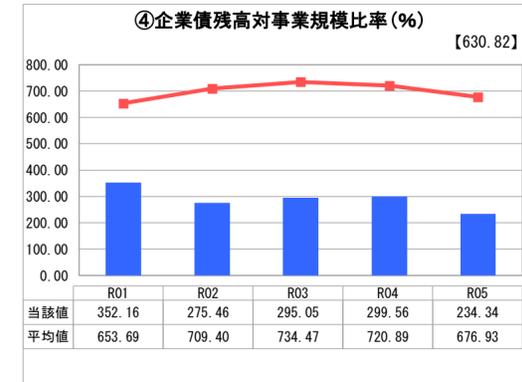
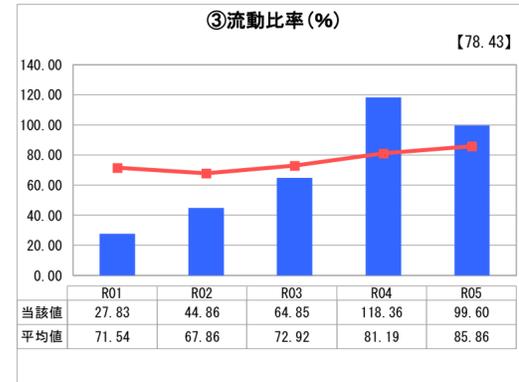
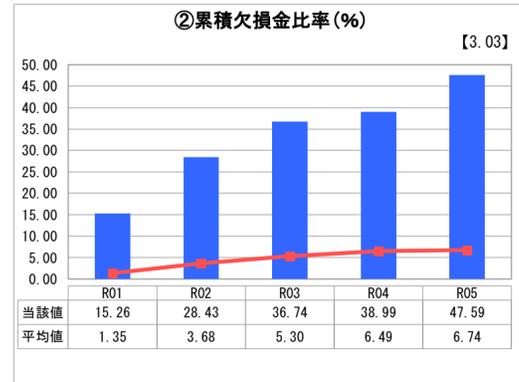
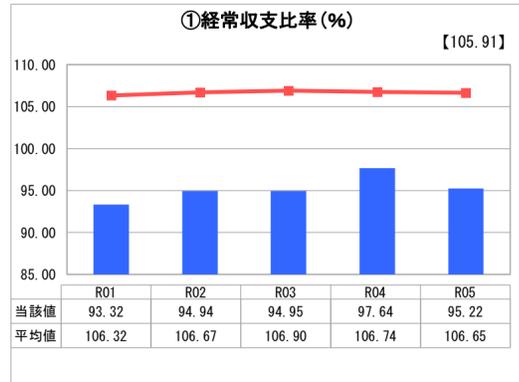
神奈川県 逗子市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	72.60	100.00	79.75	2,147

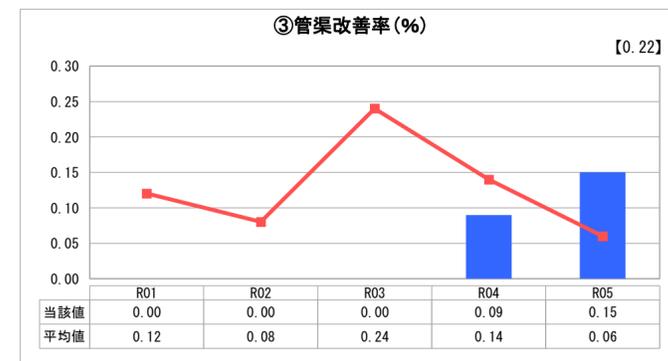
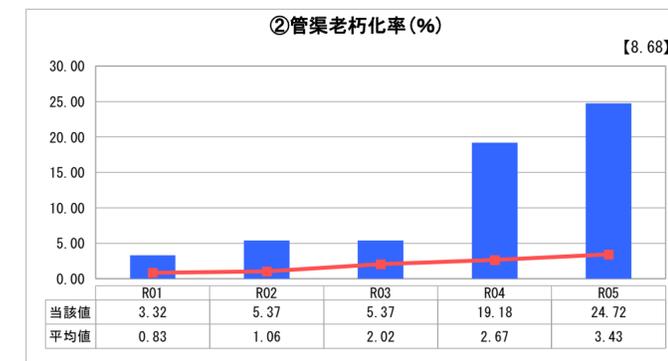
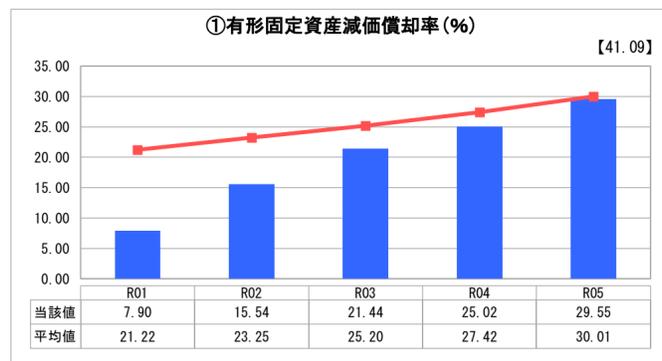
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
58,510	17.28	3,386.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
58,293	8.64	6,746.88

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本市では、平成31年4月1日から地方公営企業法を一部適用（財務適用）し、企業会計へと移行しました。本年度は、前年度に引き続き決算で欠損金が発生したことから、経常収支比率が低く、累積欠損金比率が高くなっています。経営の改善のため、令和4年7月1日に使用料の改定を行い、前年度より経費回収率は若干改良したものの、依然100%を下回っていることから、使用料で回収すべき経費を使用料で賄えず、適正な経営状況とは言えません。企業債残高対事業規模比率においては、普及率が100%となり維持管理を中心とした経営であることから、類似団体平均値と比較して低い傾向にありますが、今後大規模な施設更新に伴う企業債の増額が見込まれており、より厳しい経営状況となることが予測されます。今年度は、現状の財政状況と今後の投資活動を明らかにし、経営戦略の改定を行いました。それに基づいて使用料の改定についての検討を行い、将来に控える浄水管理センター等の施設の再整備に向けて経営改善を目指します。

### 2. 老朽化の状況について

昭和40年代後半に供用開始した本市においては、特に処理場の老朽化が深刻な状況になっています。また、類似団体や全国の平均値と比較すると、管渠老朽化率が高く、管渠改善率は全国の平均値を下回っており、老朽化した管の更新が進んでいないことを示しています。処理場、管渠ともにストックマネジメント計画等に基づいて、適切な改築・更新を行ってまいります。老朽化が進行する浄水管理センターの再整備に関しては、処理方式等の適切な手法を検討してまいります。

### 全体総括

下水道施設の老朽化が進んでいることを踏まえると、今後より厳しい経営状態で推移することが予測されます。今年度は令和4年度の使用料改定の結果を反映させ、令和2年度に策定した経営戦略を改定しました。将来にわたって健全な経営を持続的に運営していくため、経営指標も参考にしながら、引き続き適正な使用料の検討及び効率的な施設の維持管理を行い、浄水管理センターの再整備に向けて資金確保を行ってまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。